

ご成婚者様の声

■Tさん（男性・会社員・35歳）

■お相手の方（女性・会社員・32歳）

結婚しようと思った経緯

正直な話、唐突に結婚したくなっただんです。

35歳のことでした。

それ以前は、そこまで結婚したいとは思っていなかったのに。

当時、群馬に住んでいたのですが、群馬に引っ越す前は池袋に住んでいたんです。

そうすると、知り合いがいなくても、見渡せば誰かいる。

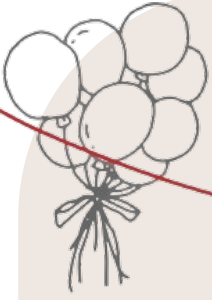
外で食事をしたり飲んだりすれば、そこにはいつも沢山の人がいるわけで、「つながりを持つようと思ったらいつでも持てるな」ぐらいに思っていました。

でも、群馬に転勤してきて、35歳という年齢になって。ふと気づけば、周りに誰もいないという状態になってしまいました。

そうしたら急に「婚活しよう！」と思い立ったんです。あれこれ考えちゃうと、「やっぱり、やめておこう」となりそうだったので、すぐに結婚相談所へ電話しました。

もう、退路を断った感じですね。「とりあえず会いに行こう」と。

今思えば、このスピード感がよかったんだと思います。



ご成婚者様の声

Punonoを選んだ理由

結婚相談所は、インターネットで検索して選びました。

検索結果にたくさん出てきた中から絞り込んでいきました。

選ぶ基準は、まず通えるところ。

そして、次に料金体系です。

自分なりにいろいろ考えました。

結婚相談所だってビジネスです。

とはいえ、あまりビジネスライクなものも困ります。

だって、こちらは人生がかかっているわけですから。

なので、なるべく親身になってくれるところがいい。

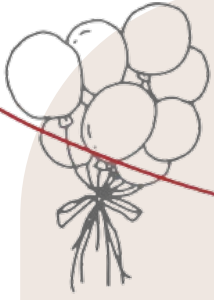
では、どういったところが親身になってくれるだろう・・・と。

あれこれ考えた末に、「月々の会費は控えめで、結婚が決まった時に成婚料を支払うタイプのほうが、親身に導いてくれるんじゃないか」という結論に至りました。

こうして選んだ結婚相談所は2つ。

1つは大手で、もう1つがPunonoさん。

大手と小規模の両方を比較検討することで、より自分に合ったところが見つかるんじゃないかと思ったんです。



ご成婚者様の声

まずは、大手さんに行ってみました。

サポート体制だとか、PDCAだとか、いい話をたくさん聞きましたが、なんだか結婚への道が見えてくる感じがしなくて。

これはあくまで担当の方によるのだとは思いますが、あまり相談にしっかりとってもらえるイメージが持てませんでした。

一方、Punonoさんのほうはというと、電話をかけた時、どうやら携帯へ転送されていたらしく、旅行中のところに繋がってしまったんです。

休業中なら留守電にしてもいいのに、それでも電話に出てくれて、そこで来店の約束をとりました。

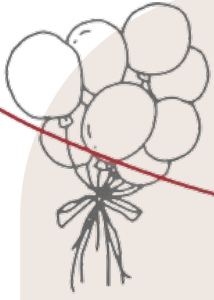
Punonoさんの話を聞いてまず思ったのは、「そんなに相談にのってて、やっていけるんですか？」ということ。

会員を少人数に絞っていて、その分、一人ひとりの相談にみっちりのとってくれるスタイル。

たしかに手厚いフォローをするなら大人数は無理でしょうが、「これで月々やっていけるの？」と勝手に心配してしまいました。

「会員さんがご成婚されることが嬉しくて、そのためにやっているようなものです」という言葉は、本心なんだな・・・と。

利益度外視という訳ではないでしょうが、「第一の目的が会員の成婚」ということ、本当にやりがいをもって運営していることが感じられて、「Punonoなら、きっと結婚できる」そう思いました。



ご成婚者様の声

いつでも相談にのってもらえる安心感

基本的なやりとりは、もちろん営業時間内と決まっていますが、本当に困った時には、時間関係なくすぐに対応していただきました。

もちろん、不必要に連絡することはありませんが、どうしても連絡が欲しいとき、ものすごく困ったことがあったときは、それこそ「深夜でも」くらいの勢いで。

僕も正直、申し訳ないとは思いつつ、夜の9時ぐらいに電話したことがあります。

夜中に電話したのに、そこから1時間くらい話を聞いてくれました。

ひとしきり相談して電話を切ったあとには、解決の糸口が見えている。

もちろん、夜中に電話するのはルール違反ですが、それくらい、本当に親身になって話を聞いてもらえます。

何でも相談できる、本当に心強いサポートでした。





ご成婚者様の声

的確なアドバイスを真っすぐに伝えてくれる

Punonoさんに登録してから成婚するまで、半年ほどかかりました。

それまでにお会いした方は20人ぐらいです。

妻はPunonoさんの会員ではありませんが、結婚が決まった後、一緒に挨拶に行ったら、すぐ打ち解けてしまって。

今は、僕抜きでやりとりしているらしいです（笑）

今は埼玉に住んでいますが、出会った当時、妻は東京、僕は群馬に住んでいました。

僕の仕事は金融関係で、全国に転勤があります。

それも3～5年に1回ぐらいの頻度です。

なので、「転勤についてきてくれる」という条件は絶対に外せなくて。

ここがネックになって、なかなかうまく婚活が進みませんでした。

「転勤についてきてくれますか？」と聞いても、なかなか皆さん「Yes」の答えをくれないのです。

そんなときにいただいたアドバイスがあります。

「まずは相性ですよ。転勤という話は、その後にくるべき話。最初から転勤について来れるかどうかで区切るのではなく、まずはそこを取り払って、相性を確認しましょうよ。相性の合う人と出会えたら、転勤という話は足枷ではなくなっていくんじゃないかしら」と言われました。

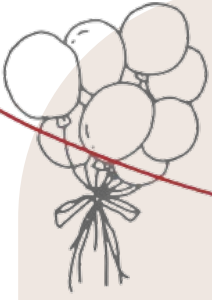


ご成婚者様の声

結局、そのとおりにになりましたね。
客観的なアドバイスをもらえて、本当によかったです。
自分では分からなかった。
自分の視点でしか見ることができませんから。もし、
このことを頭ごなしに言われていたら、反発してしま
ったかもしれません。
しかし、そういうことを全く感じさせないお人柄な
んですよね。

結婚相談所への登録を迷っている方へ

決断が速く、自分で何事も前向きに決められる方なら、おそらく、どの結婚相談所に登録しても、うまくいくのではないのでしょうか。
でも、もし迷っているようなら、親身になって相談にのってくれるところのほうがいいと思います。
悩みにも迷いにも丁寧に向き合ってくれるPunonoさんのような小規模なところがお勧めです。
ただ、小規模なところへの登録となると、大手さんより少し、心理的なハードルが高くなりますよね。
そこはもう、「頑張ってください」としか言えませんが。



ご成婚者様の声

ハードな婚活を乗り切れたのは、Punonoだったから

婚活って、想像以上にハードです。

婚活をしていると、断られることもあるし、時には断ることもあります。

断られることはもちろん辛いし、断ることだって胸が痛い。

どちらにせよ、結構な心のダメージがあるものです。そして、これまで経験したことのない決断の連続。ある程度お付き合いしてから別れるというサイクルではなく、短い間に次々と決断していかなければいけないんです。

決断、決断、決断。

これはもう本当に、精神的な疲れが半端ではありません。

どうしても、大なり小なり「あれで良かったのかな」という後悔は生じるものです。

しかし、そこに捉われていたのでは先に進めませんから、自分の中だけであれこれ悩まずに、ちゃんと相談するように心がけていました。

困ったことや悩んでいることがあれば、その都度相談しながら継続していくことが大切だなと思います。マイペースで進めたいと思っても、やっぱり相手のあることですから。



ご成婚者様の声

会うまでは時間のやりくりが大変だし、会ったら会ったで緊張もするし。

本当にハードです。

僕が最後まで頑張ることができたのは、**Punono**さんという何でも相談できる拠り所があったからです。婚活に関しては、周囲の人に話しても、あまり解決になりません。

この境遇を理解してくれる人は、なかなかいないので。

自分のことのように親身に考えて適切なアドバイスをくれる存在があったことが、最後まで婚活を続けられた要因として一番大きかったと思っています。

